

## 第2学年国語科学習指導案

日 時 令和4年11月1日(火) 3校時  
 対 象 1組 38人  
 授業者 教諭 馬場 豪弥

- 1 単元名 情報を関係づける
- 2 教材名 複数の情報を関連づけて考えをまとめる  
 共生社会に関するデータ  
 自立とは「依存先を増やすこと」(『現代の国語 2』三省堂)

### 3 本時

#### (1) 目標

- ① 自分の意見文に説得力をもたせる効果的な情報を、根拠として明確に示すことができる。

【知識・技能】

- ② 多角的視点で文章を吟味し、根拠に必要な要素を理解することができる。

【思考・判断・表現】

#### (2) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導 入	1 前時までの学習内容を確認する。	5 一斉	
	2 本時の学習課題を確認する。		
説得力がある意見文には、どのような資料が必要だろうか。			
展 開	3 考えを交流する。	10 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に用意した資料と併せてグループ内で発表させ合い、多様な意見に触れさせる。</li> <li>・ 観点や話し合いのこつを示すことで、効果的な言語活動を促す。 (ワークシート)</li> <li>・ タブレットを活用し、他の生徒の意見文が手元にある環境を整えることで、活動がスムーズに流れるようにする。</li> <li>・ 使っている資料が、意見を補う上で効果的な役割を果たしているかを考えさせ意見と根拠の関係性に気付かせる。</li> <li>・ 各グループで最も評価が高かった意見文にはどのような根拠が示されていたかを発表させ、根拠に必要な要素を全体で考えさせる。</li> <li>・ タブレットを使い、各グループの考えを視覚化することでより幅広い考えに触れながら自己の考えを深めさせる。</li> </ul>
	4 意見文と、そこに使用した資料を吟味する。	15 グループ	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の信憑性</li> <li>・ 内容の妥当性</li> <li>・ 意見との関連性</li> </ul>		
	5 話し合いの結果を共有する。	10 一斉	
終 末	6 本時の振り返りを行う。	10 個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りの観点を示したワークシートを配布し、自身の振り返りに活用させる。 (ワークシート)</li> </ul>

#### (3) 評価

- ① 情報を精査し、自らの意見を補完する根拠として明確に示すことができたか。

【知識・技能】

- ② 社会性や一般性を踏まえた視点で意見文を吟味することができたか。

【思考・判断・表現】